

経済環境の悪化の
あおりを受け、木質
チップの取扱量が大幅
に減少、底の見えない
状況が各地で続いている。
木質系廃棄物を一定量確保し
ようと、処理料金を
値下げするなど、各社
存続をかけた過当競争
が行われている。

その中、木質チップ
専門生産業者の一部
では、処理単価の微
細な変動で揺れる顧
客に見切りをつけ、
信頼感やコンプライ
アンスを優先する良
質な顧客を重視。処
理料金に対する理解
を求めていく中で、
処理単価の値上げを
実施した木質チップ
専門生産業者

車拍に値下げ料処理 業者も取買パレ木

に入り徐々にではあるが
出はじめていた。

一方、ここに来て、その
逆の行いとも取れる動き
が先日、業界内で突然起
った。

それは、西日本のある
木質チップ生産専門業者
が木質パレットを有価で
買取りをはじめたことだ。
買値などの詳細は不明だ
が、今回の一件で、同業者
は非常に高い危機感を募
らせている。

今回、木質パレットの
有価の買取りをはじめた
のは1社だが、排出業者
などに「木質パレットは
有価で売れる」という情
報が流れば、現在、有
料で処理をしている業者
は大打撃を受けることにな
るのは必至だ。

(つづく)